

そうか、だから日本は世界で尊敬されているのか！

元ウクライナ大使 馬淵 睦夫 ワック(株)

(まえがき)

戦後70年の今年には歴史的認識諸問題に決着を告げる年です、戦後は1952年のサンフランシスコ講和条約を以て終わった、この条約締結国でなかった韓国と中国とは日韓基本条約(1965年)と日中平和友好条約(1978年)の締結を以て戦後はハッキリと終わった、謝罪しろとか保証しろとかいう言いがかりは自国が締結した条約を破る非法な行為。外務省で40年間勤務、60程の国を見てきた経験をもとに「今日日本が如何に外国から素晴らしい国だと見られているか」お伝えしたい。

{ なぜ日本は世界で尊敬されているのか }

ウクライナは1991年ソ連から独立、日本の国土の1、6倍・人口46百万人で素朴な国民性を持ち文化を大切にする国、小学校5年生の授業「日本人にとって自然がインスピレーションの源である」「日本人は自然の描写によって自分の心情を表現する」「日本人は平凡さの中に美を見出し、精神性と物質世界との調和を大切にする」これらの指摘は日本人の特性を的確に表していると感じた、松尾芭蕉の俳句は18あり9ページに亘って詳しい説明、高校2年生では川端康成の「千羽鶴」の授業で朗読して意味を考え登場人物の倫理観・美意識で「日本人は規律正しい」「倫理意識が強い」「対人関係に細心の注意を払っている」「文化や経験を大切にする国民である」と

{ 新しいロシアに協力できる国は日本だけ }

1991年ソ連崩壊、ロシアが生まれて初代大統領エリツインは国営企業を民間に払い下げ経済は大混乱、ハイパーインフレで物価は百倍位に、民営化を利用して大きな財閥が生まれ経済の根幹である石油・天然ガスを押さえた、少数の人がロシアの富の大半を握り一般の人々は貧困化した、2000年に大統領になったプーチン大統領は財閥を押さえ新しいロシア建設で課題としての新しい理念は明治維新以降の日本と共通する問題意識で課題を解くヒントが日本人の文化にあると、このロシアの課題にどう応えていくか重要なポイント。

2013年4月安倍総理はロシアを訪問百人近い経済人を連れて日本企業がロシアのいろんな分野に投資する事が決められロシアの近代国家建設に協力する事はロシアの安全保障の強化に貢献とイコールで北方領土の返還解決になると。

{ 文化大国を築いたキューバのカストロ議長長の夢 }

2000年からキューバ大使として勤務、コロンブスが五百年以上前に「世界で一番美しい島」と讚えた、島の広さは日本の本州の約半分、1959年キューバ革命以来カストロ議長の哲学は「物があふれる大衆消費社会ではなく文化な豊かさが本当に人間を豊かにする、その為には教育が重要である」の方針を貫いてきたキューバは文化大国

カストロ議長は大の日本ファンで2003年日本を訪問、広島で原爆犠牲者に強い追悼の念を示し帰国後キューバ国民に「気高く寛大な日本国民は原爆の投下者を恨む言葉を一言も発しなかった、その代わり「このような悲劇が二度と起こらないようにと平和祈念碑を建立して世界平和を祈り続けてきた」と、昭和天皇が崩御された際、国を挙げて喪に服してくれたのはインドとキューバのみです。

カストロ議長と会談した小泉首相は開口一番「長期政権の秘訣は何ですか」と質問「それはビジョンと情熱です」と間髪入れず答えた、キューバは一党独裁制にも拘らず政権は腐敗していない世界でも稀なことで国民は全て基本食糧の配給、大臣は4万円位な給料で国民に範を示している、キューバは大学院迄授業料無料、基本的な医療サービスも無料、識字率は日本と同じくほとんど100%で文化大国、キューバはサトウキビ農園に連れてこられた黒人、支配者であったスペイン系白人・白人と黒人の混血であるムラートの三つの構成、アフリカの文化を取り入れ、そこに白人文化を混合させて新しいキューバ独自の文化を作り上げた、キューバ音楽やダンスは世界的に評価され「自国の文化に誇りを持ち大切にすることで他国の文化に関心を持ち他国の文化を尊敬できる」ウクライナとキューバは同じ哲学に基づいて国づくりをしている。

* 昭和天皇は開戦責任で日本占領最高司令官マッカーシーとの会見で「私は国民が戦争遂行にあたって政治・軍事両面で行った全ての決定と行動に全責任を負うものとして私自身はあなたの代表する諸国の裁判にゆだねるために訪れました」とマッカーサー回顧録、米国のフーバー元大統領は回顧録の中で「原爆投下は全ての米国史を振り返ってみても前代未聞の残虐行為である」と述べていると共に「米国の良心を永遠に苛み続けるだろう」と、このような良心の呵責を解くことが出来るのは私達で日本人の良心にかかっている。

{ 世界を救うのは利他の心 }

稲盛和夫京セラ元会長の生き方で人生の方程式は「人生の結果＝能力×情熱×考え方」最後の考え方がプラスであれば人生の結果はプラス、考え方がマイナスであればマイナス、又掛け算になっているところがミソでこの方程式が面白く且つ恐ろしいところ、であり結局人生の結果は「考え方」に左右されており人生での方程式を噛みしめてほしい、キューバのカストロ議長も自己の権力の為ではなく、国民の幸せを願って政治を行い「利他の心」と云える、利他の心は生活していく上で基本的に持っている普遍的な価値。

{ 外交交渉の心構えは国益7割・道義3割 }

戦後の日本外交の原点「貧者の一灯」日本は1954年から主としてアジアの国々に経済援助を始めた、未だ敗戦から9年、貧しく世界銀行や米国から援助を受けていた状況で1958年インドに約180億円の円借款はとりわけ大型案件だった、その後日本は経済大国となり外国への経済援助も増え米国を凌いで世界最大の経済援助国になった事もあった「日本の新しい援助の思想」は援助にとって重要なのはその国の自立を目指すこと、援助する側の姿勢として「対等な立場で支援を行う」と云うことを日本は国際社会に強く訴えた。

「途上国が先進国を助けている例」キューバの医学校では6千人以上の学生が学んでいる、ほとんどは中南米の貧しい国から、驚いたことに米国人も50人近くいてキューバ政府から奨励金が出ている。

{ 発展途上国の人々が日本から学んでほしい事 }

近代化と伝統文化を両立させる秘訣、日本は明治維新以来それに成功した、その秘訣を学びたい。

1997年タイバーツ危機が起こり一夜にして価値が下がり経済活動はストップの危機が発生 IMF の管理下に入った、タイ国内では「自分達のどこが悪かったのか」のテーマが侃々諤々の議論、プミボン国王は「タイは元々豊かな国しかし足るを知る生活を忘れた結果ではないか」「近代化は必要だがタイの伝統的な生活を忘れたら混乱するだけ、もう一度自分達の原点を見直そう」と（プミボン国王は1946年即位国民の間で絶大な人気）

- * 便利さと幸福は必ずしも一致しない～先進国では絶対的な貧困はなくなったが～日本・米国・EU 更に経済規模世界第二位の中国も悩んでいる、それにマーケット万能主義が世界を一つの市場と考え、その中で競争しようとするグローバル市場化と結びつき先進諸国は「如何に世界で生き残るか」という熾烈な競争を強いられている、便利さと幸せは必ずしも一致しない、マーケット万能主義の最大の欠点はお金に換算できない価値が軽視されているところ、先進国が直面している問題は物質と精神のバランスをどうとるかと言う事。
- * ロシアも広大な国土を開発しなければならない経済的な要求が強くプーチン大統領もロシアの伝統的な価値の重要性を常に口にしている。
- * 日本が「和の国」と云われるのは伝統的に調和を大事にし「自然」「人間関係」「社会における」等、結局は「バランスを取る」ことに集約される、日本の伝統はそれを克服する知恵を含んでいると。

{ 工業製品にも「魂」が込められている }

欧米では全て神によって人間の為には作られたという考え方が主流で「モノ」は人間の利用に供される対象に過ぎない、日本人は工業製品であっても私達の魂・精神が込められているという発想がある。

ウクライナの新聞「デニ」の女性編集長は来日した際に日本見聞録をウクライナの新聞に載せ日本で一番気に入ったことは日本人だと答え、その理由は「日本で作られたものには日本人の精神が宿っている」と

{ 失われた20年で経済失速の原因とは }

私に言わせれば日本式経営方針を止めてしまったことにある例えば年功序列の廃止派遣社員の増大などは企業に運命共同体であるとの意識を崩した、それより格差拡大一億総中流意識が消滅、労働観が金儲けだけで労働を売ると変質。

{ 終戦70周年、私達自身が正しい歴史認識を持つこと }

歴史の教科書で「日本は韓国を植民地支配した」は間違いです、世界的に権威ある大英百科辞典でも「日韓併合」満州問題を調査した国際連盟のリットン報告書に於いても「日韓併合」と書かれている、日本は台湾と朝鮮を統治、南洋諸島も委任統治したがいずれも植民地支配ではない、それは数字で証拠が示されている、朝鮮半島は1910年から45年迄の36年間日本の統治で人口は980万人から2500万人迄増え平均寿命は24才が48歳と日本の平均とほぼ同じ、経済成長平均4%、インフラ整備、学校教育面では小学校数5校から4271校に、全ての村に小学校が置かれた、しかも主たる授業はハングル語を初めて授業として教えた、そして京城帝国大学も大阪・名古屋帝国大学より早く6番目として創った。朝鮮に志願兵制度が導入され1938年3千人の志願者で4百人合格、翌年1、2万人で6百人の合格、1943年30万人応募で6千人合格・実に50倍、日本は朝鮮の人達と一緒に日米戦争とシナ事変を戦い、その過程で3万人の朝鮮軍人が亡くなり靖国神社に祀られた、現在韓国の人達が反日的なのはむしろ善政だったから、他の帝国主義と同じ植民地支配であったなら日本を憎み必要もなかったと思う、独立後権力について政治指導者は日本統治時代より優れた統治を行う必要性があったがそれは不可能、従って自分達は日本人によって搾取されたと反日政策を取ることによって韓国国民に訴える必要があった。

{ 教育者が教えない「リットン報告書」の真実 }

1932年満州事変と満州国を調べた国際連盟の調査団～仏・英・伊・独・米出身5名のメンバー団長は英のリットン伯爵で満州国は中国の領土ではなく最大の根拠は万里の長城で蛮族が中国に入ってくるのを防ぐ防衛施設、満州族が中国に出掛け支配していたのが清国で皇帝だった溥儀が満州国成立後、日本軍の支援で皇帝となったのも正統性あり、シナ事変半年前の西安事件は

蒋介石と毛沢東の共産党が協定して日本と戦う「国共合作」協定を結んだのがシナ事変の決定的な原因で盧溝橋事件・第二次上海事変と何れも中国側から仕掛けたもの、蒋介石の部下だった張学良は蒋介石を監禁して「国共合作」を認めさせたがソ連の支援を受けていた、毛沢東は米国の後押しがあり中国の共産化実現の最大の障害である日本を国民党と共産党は一致して対日戦争を仕掛けた、実は中国の歴史学者林思雲氏も「中国側に於いて自発的に日本と戦おうとする意志が高まった状況」と述べている。

中国に対して悪いことをしたという贖罪意識は反って中国人のプライドを傷つけることに気づくべきだ、日本は中国を一方的に侵略したとあげつらってはばからない一部の日本人は大変傲慢、日本人が「我々は堂々と中国と戦った」それは中国を尊敬することになる「東京裁判は日本が戦略戦争としたが誤りであった」とマッカーサー占領軍総司令官が後に米国の上院で証言、同時に「日本の戦争は主として自衛の戦争だった」と証言した。

{ ウクライナ情勢は腹黒い世界の縮図だ }

ウクライナの政治家と国民で一致しているのは独立を守る事が人々のコンセンサス。ウクライナの大学で先生をしている知人は「今回の騒動はマフィヤとマフィヤの戦いです」と、ロシアの天然ガス輸入をめぐる両国の対立もウクライナで誰が利権を握るか低次元の権力者の利益争い、去年の反政府デモで親米派が作った暫定政府は憲法違反で議会は弾劾手続きをしていない非合法政権、クリミア半島住民の6割はロシア人で元々ロシア領、ウクライナ危機の黒幕は米国のネオコン勢力で狙いはプーチン潰し。

{ 安倍総理の出番が来た }

日米首脳会談で中国の暴走を日米両国で協力して抑止することで意見一致、ロシアが中国に接近すれば日米で中国の暴走を抑えることは困難～安倍総理はプーチン大統領訪日に米国の事実上了解を得た。

以上